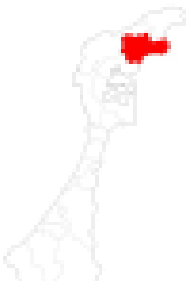


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	プチミュージアムの郷プロジェクト調査事業
対象地域	石川県鳳珠郡能登町
対象地域の概要	   【位置図】 【能登町内の地区所在地】 【居住者不在の家が処々に見られる】
提案内容の概要	能登には交流人口の確保と住民の地域愛が不可欠であり、<u>独自の歴史文化資産</u>があちこちの町内や個人の土蔵に豊富に残存している。この有効活用こそが能登のオンリーワン発信とアイデンティティ確立する。各地域に埋れた有形無形の資源を最大限活用し、<u>交流人口拡大と地域への愛着</u>を高め、定住人口の増加を目指す。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	地域の概要にあるように人口減少と高齢化が進みつつあり、住民の地域愛向上と交流人口確保は急務と言える。翻って、20年度調査の結果からは古文書関係の継承の不十分さが浮き彫りになっていて住民の地域愛が低下していることは明らか。そこで前年に引き続き、奥能登トリビア蔵の全国への発信を行うと共に、地域住民の交流の場として、その位置づけを明確化しなければならない。また20年度調査結果のサイバーミュージアム化にとどまらず、早急な実体化もあわせて検討しなければならない。
(2) 活動内容の案	活動①：20年度調査結果のサイバーミュージアム化と出張講義による地元への周知活動 内容： 20年度調査結果を内容のさらなる精査の上、展示パネル原稿を8面/館程度を46館分作成し、ドメイン取得の上、レンタルサーバー上で公開する。 課題の一つとして地元への周知が本プロジェクトにおけるコミュニティ創生に対する寄与の鍵となる訳で、それに対しては町の出前講座に登録の上、町内全中学校(5校)と全公民館(15館)への出張講義を申し出る。中学校に対しては出張講義の前と後に地域愛に関する認識度を調べるアンケートを実施し、その効果を評価したい。結果は以後の講義のあり方の参考にもできる。 活動②：サイバーミュージアムの実体化のため、6館を新規開設する。 内容： 20年度調査結果から条件の整っている案件を6館分抽出し、実体化の作業を行う。・最小限の展示環境の整備①で作成した原稿に基づき展示パネル等作成)。・館名看板の作成を行う。いずれも材料購入。 活動③：ホスト技術向上と館主不在時の対応などのシステムの構築 内容： 前者に対する研修会およびワークショップの開催。後者に対しては観光ボランティアガイド協会との連携などによる対応を模索、確立する。
応募団体名	民有「歴史文化」資産の保存活用を考える会
リンク	
部局／担当者名	代表 中 與七郎（ナカ ヨシチロウ）

連 絡 先	電話・FAX 0768-72-0085 MAIL naka_476@ybb.ne.jp
推 薦 市 町 村 名	石川県鳳珠郡能登町